

名経の 資格取得支援

本学は、資格取得のための支援体制として学習支援室や勉強会など、同じ目標へ向け仲間と絆を育みながら学べる場所を提供しています。

MOS※(Word・Excel・PowerPoint)試験においては、①「学内で受験」

MOS/PowerPoint 満点合格



私がMOS試験に抱いていた印象はとても難易度の高いものですが、実際にMOS試験を受けてみて感じたのは、しっかりと基本をおさえて勉強すれば大丈夫だということです。私の勉強方法は、教科書に載っている基本的な操作を一通り行い、試験練習問題でそれを実践することです。練習問題で間違えたところはしっかりと復習して正解できるようにします。私はこの勉強方法で満点を取ることができました。

経済学部1年 矢野正輝さん 富山県立八尾高等学校出身

資格取得勉強会

ファイナンシャル・プランナー(FP)勉強会、リテールマーケティング(販売士)検定勉強会

FPチームは毎週月曜の昼休みに勉強会を行いました。試験までの時間が短く、教科書中心ではなく問題集中心の勉強法でした。インプットが目的だったため「習うより慣れる」の勉強でしたが、大学の講義と異なるこうした学習方法を参加者は楽しんでいるようでした。これから勉強を始める皆さんにも「内容に応じた」学習法があることを知ってもらいたいです。チームとして毎週集まることで仲間の進捗が気になり、勉強のペースが自然とつかめるという効果もありますよ。「販売士」のチームの勉強会も始まっています。(経済学部准教授 峯岸信哉)

MOS/トリプル資格取得



情報の授業科目にPowerPoint・Word・Excelが設定されていることがきっかけとなり、資格取得に挑戦。最初は難しく考えていましたが、授業を受けるうちに自信が付き、1年前期にPowerPoint、1年後期にWord、そして2年前期にはExcelの試験に合格することができました。「奨学金」として受験料も戻ってきますし、MOS試験は、資格取得の入門編として良いきっかけになると思います。 法学部2年 座間味駿さん 沖縄県立名護高等学校出身

※MOS(Microsoft Office Specialist)は、Word・Excel・PowerPointなどのパソコンスキルを客観的に証明できる資格として、履歴書に記載して就職活動に活かすことができます。

勉強会で、集中力を高めることができた



今回のファイナンシャル・プランナー技能検定3級合格は、勉強会の成果が大きいです。金融論の講義でファイナンシャル・プランナーに興味を持った私を、担当の峯岸先生が勉強会に誘って下さいました。先生を囲んでメンバーが集まることで、独力で勉強する以上の集中力が繋がりました。また、先生の解説を聞き、メンバーと教え合うことで不安なく試験対策を進めることができました。 経済学部3年 渡辺恒一郎さん 静岡県立浜北西高等学校出身

ファイナンシャル・プランナー 技能検定 3級 今回の合格率 80%

2016年度入試日程

※選考方法については、「2016年度入学試験要項」にてご確認ください。

■大学 経済学部、経営学部、法学部、人間生活科学部 教育保育学科・管理栄養学科 ■短期大学部 保育科

入試区分		出願期間(消印有効)		試験日	審査結果発表日	合格発表日
AO	Ⅳ期	エントリー	2015年12月14日(月)~2016年1月15日(金)	1月23日(土)	1月25日(月)	—
		正式出願(専願)	2016年1月26日(火)~2月3日(水)	—	—	2月13日(土)

入試区分		出願期間(消印有効)		試験日	試験会場	合格発表日
一般入試	前期A日程	2016年1月4日(月)~1月15日(金)		1月23日(土)	犬山、名古屋	1月29日(金)
	前期B日程	2016年1月4日(月)~2月1日(月)		1月24日(日)	犬山、名古屋、津、浜松、松本、金沢	2月13日(土)

※その他、AO入試(V期)、一般入試(中期・後期)、センター利用入試も実施します。

■大学院 法学研究科/法学専攻(修士課程)・企業法学専攻(博士後期課程)、会計学研究科/会計学専攻(博士前期課程)・(博士後期課程) 人間生活科学研究科/幼児保育学専攻(修士課程)・栄養管理学専攻(修士課程)

研究科	専攻	課程	入試区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日
法学	法学・企業法学	修士・博士後期	Ⅱ期	2016年1月12日(火)~1月20日(水)	2月14日(日)	2月17日(水)
会計学	会計学	博士前期・博士後期				
人間生活科学	幼児保育学・栄養管理学	修士	Ⅲ期	2016年1月13日(水)~1月21日(木)	2月7日(日)	2月19日(金)

※上記各研究科・専攻の入試には、推薦、一般、社会人、外国人留学生の入試区分があります。

学校法人市邨学園教育研究充実寄附金のお願いについて

学校法人市邨学園では、少子化の進行などにより今後より一層厳しさを増す私学を取り巻く環境を踏まえ、100年積み上げて参りました教育・研究活動の益々の振興充実をはかるべく、「学校法人市邨学園教育研究充実寄附金」(任意)を募集いたしております。

趣旨にご賛同いただき、ご寄附をお申し出いただける場合、またご不明の点などありましたら、右記までご連絡いただけますよう、よろしくお願いたします。なお、本法人は、特定公益増進法人の認定に加え、税額

控除対象法人の認定を受けました。これにより、個人の方が本学へご寄附いただけますと、以前より多くの所得税の控除を受けることも可能となります。

寄附金に関する照会・連絡先

学校法人市邨学園 法人本部(寄附金担当)
TEL 052-853-0047(代表)

MEIKEI

あなたのご意見をお聞かせください

「名経大通信」Vol.52について、ご意見や感想などございましたら、入試広報部(右記連絡先)までお聞かせください。

MEIKEI

名経大通信 Vol.52
2015.11.30
名古屋経済大学
名古屋経済大学短期大学部



MEIKEI 名経大通信 Vol.52

平成27年11月30日発行 名古屋経済大学・短期大学部 〒484-8504 愛知県犬山市内久保61-1 TEL 0568-67-0511(代) http://www.naogyo-ku.ac.jp/

入試広報部 TEL 0568-67-0624 FAX 0568-69-2700
●本誌掲載の応募・写真・イラストなどの無断複製・転載・転用を禁じます。

名経祭&わいわい犬山フェスティバル

第13回 名経祭レポート

ホップ・ステップ・ジャンプ!

10月10日(土)・11日(日)犬山キャンパスは、「第13回名経祭」で大いに盛り上がりました。

附属市邨幼稚園児のステージにはじまり、後夜祭の手筒花火&打ち上げ花火まで、お祭りムード満載の“名経祭”に潜入レポートしました。



ヘルシー・オイシイ
オリジナル『スムージー』
たくさん召し上がれ!

この日の誕生日を
いっしょにお祝い
してもらいました!

やきとり、やきとり
ドリンクもあるよ!



感動的エピソード
が語られた
母娘トークショー!

昨年のリベンジ!
みんなの力か
大きな実をつけました



02 模擬店グランプリ1位! 今年は去年より味もボリュームもUP

模擬店は2年続けて「広島焼!」昨年の教訓を生かして焼き方・味はもちろんのこと、ボリュームもアップしました。そんな努力の甲斐があって、来場者の皆さんの支持を受け、模擬店グランプリで1位に輝くことができました。大学生活最後の“名経祭”が最高の思い出になりました。

●早川ゼミ4年「広島焼」
人間生活科学部 管理栄養学科4年 小澤広弥さん 愛知県立足助高等学校出身
(上段の写真後列左)

01 特別企画!ピリギャル母娘 TALK SHOW

書籍「学年ピリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話」(著:坪田信貴)や映画「ピリギャル」の主人公・小林さやかさんと母親の橘こころさんによる「ピリギャル母娘トークショー」は、さやかさんが“ピリギャル”になった理由や、母親のこころさんが娘とどう向き合い、寄り添ってきたのか。運命的な一人の教師との出会いをきっかけに母子で懸命に頑張るうち、多くの応援者の出現により努力が実を結んだという、感動的なエピソードが語られました。

2位の
やきとり、やきとり
に行列!

3位の射的は
子どもたちに
大人気!



オープニング
園児の元気な竹太鼓でスタート!

芸人オンステージの前に
わくわく、どきどき...
芝生広場は大にぎわい

“はらべこあおむし”
スタンプラリーも
よろしくね!

音楽と花火の競演
ミュージックスターマイン

こねこね、ぎゅぎゅっ
どんおすしが
できるかなあ?

迫力満点の
手筒花火!

- 1 シアター『どうぞのいす』
- 2 市邨幼稚園児による「竹太鼓」
- 3 「あつあつ焼そば」お待ちどう!
- 4 犬山市の公式キャラクター わん丸君も登場!
- 5 開演前の芝生広場
- 6 じゅーすやさんだよ!
- 7 ミニドッグ「おひつつかが?」
- 8 プラスバンド部の演奏
- 9 かき氷! まっしろしるすけ
- 10 ねんどがおすしに変身??
- 11 お母さんも夢中になっちゃう 作ってあそぼう!

わいわい犬山フェスティバル

今年も、名経祭と犬山市産業振興祭「わいわい犬山フェスティバル」が同時開催されました。犬山市南部公民館では、経済学部学生研究室「地域政策チーム」が地域情報の見える化とその活用法を中心に、日頃の活動を紹介。本学会会場間にはシャトルバスも運行し、大勢の来場者で盛り上がりました。11日(日)には、「自転車散歩いぬやま」に参加された皆さんも名経祭に来場してくださいました。「犬山市に根ざし、市民に開かれた大学をめざす」という本学の地域交流の輪は、着実に広がりを見せています。

地域政策チーム

自転車散歩いぬやま
名経祭がスタンプポイントに...



「地域情報の見える化」に興味を示す来場者

「自転車散歩いぬやま」の参加者が到着

幼稚園と大学連携

幼稚園と大学連携による生きた学び

「貴重な学び体験」での交流

市邨幼稚園では、大学の充実した教育施設と教授陣の教育力や学生の力を幼稚園教育に活かす取り組みを数多く行っています。

サッカー部監督とコーチによる「サッカー教室」、短期大学部保育科と人間生活科学部管理栄養学科の先生方の指導による「親子ふれ合い体操」と「親子クッキング」、元短期大学部の英語教師による「英語で遊ぼう」、短期

大学部の先生方の指導による「コンピュータ教室」、経営学部谷川先生のゼミによる「指編み体験教室」など、園児たちは他では得ることのできない貴重な学びを体験することができます。そして、その活動に学生が加わって園児一人ひとりを優しく支援することにより、園児はもちろん学生も、大きく成長しています。（名古屋経済大学附属市邨幼稚園園長 鈴木文雄）



サッカー教室



親子クッキング「いっしょに作ると、もっとおいしいね」



英語で遊ぼう！



親子ふれあい体操「思い切り体を動かして・・・」



夢中になって取り組みました！教える方も真剣です。



指編み体験教室

何ができるんだろう？

留学生の私は日本語で教えるのはとても難しかったが、日本の子どもたちと触れあうことができてとても良い経験になった。

5才の子どもにわかるように教えるのは本当に難しかった。完成した時、園児たちは本当に嬉しそうだった。子どもたちの笑顔で元気になった！

ワクワクがいっぱい！コンピュータ教室

6月下旬に附属市邨幼稚園の子どもたちを招き、コンピュータの授業をしました。私たち学生が今までの授業で作成した電子紙芝居を見せたり、子どもと一緒にペイントでお絵かきをしたりしました。エンターキーを押すと画面が変わることを教えると、何度も押して楽しんでいました。最初は、興味を持ってもらえるか不安でいっぱいでしたが、子どもたちに楽しんでもらったようで嬉しかったです。

短期大学部 保育科1年 尾野真由さん 聖カピタニオ女子高等学校(愛知県)出身

学生の活躍

保育を体験しよう

チーム保育科と教育保育学科がプロデューサー

8月のオープンキャンパスは、附属市邨幼稚園の夏期保育の時間をお借りして、実際の保育を学生が行いました。この取り組みは、同じキャンパス内に附属幼稚園があるからこそ行えるものです。準備段階では、学年や学部、組織を超えた連携や打ち合わせの機会が必要となり、学生たちは苦労しながらもリーダーを中心として事前の準備に取り組んでいました。

迎えた当日は、子どもたちの楽しむ様子が伺えました。参加した高校生からも「楽しかった」「子どもたちが可愛かった」など、さまざまな感想を聞くことができました。実践後の学生からは、反省の声が多く聞かれましたが、こうした経験は、必ず学生の力となります。それぞれの反省は今後の保育者への学びにつながるものと信じています。（短期大学部 保育科准教授 関谷みのぶ）



ボールを使ってからだを動かそう



「ぶかぶかさかな作り」・・・夢中で遊ぶ園児たち



「楽しかった！」の声が聞いてよかった

初めて自分たちで考えた保育を展開し、「フルーツ・バスケット」を行いました。鬼をやりたい子が多く予想外の展開になるなど大変なことも多かったのですが、園児みんなの「楽しかった」という言葉を聞くことができ、やって良かったと思っています。担任の先生が園児一人ひとりのことを理解して対応している姿が、とても印象的でした。

短い時間でしたが、多くのことを学ぶことができました。今回の経験を今後の実習に活かしていきたいと思っています。

人間生活科学部 教育保育学科1年 石川奈津美さん
愛知県立岡崎東高等学校出身

先輩たちの凄さを間近に感じた！

夏期保育での保育実践に参加して、先輩たちの凄さを実感することができました。先輩たちが子どもたちに対して話す速度や言葉づかい、接し方を実際に見て、鳥肌が立ちました。子どもから学ぶ機会は今後もあると思いますが、先輩から直接何かを学ぶ機会は、夏期保育に参加しなければ体験できないと思いました。先輩の行動を見て学び、先輩の話方聞いて学ぶことが多かった今回は、いい経験になりました。参加していない保育科の人にも伝えたいと思いました。

●チーム保育科
短期大学部 保育科1年 松原理子さん 愛知県立愛知商業高等学校出身

う蝕※対策普及啓発活動

※う蝕(うしょく)とは、虫歯のことをいいます。

ムウバ・シィバがやってくるぞ！

小牧市の保育園で、園児を対象に虫歯予防活動を行いました。この活動は、昨年に引き続き、小牧市保健センターのう蝕対策普及啓発活動に参加させていただいているものです。活動に参加した学生は、子どもたちの元気な反応に助けられながら、また、予想もしない応答に戸惑いながら、手遊びや紙芝居、パネルシアターを実施しました。（関谷）



まずは手遊びで子どもたちの心をつかむ

ムウバ・シィバが登場！

反応もよく、練習の疲れも吹き飛びました



私は、9月末に小牧の保育園で虫歯予防を呼び掛ける劇を行いました。学生の参加者が4人と少人数だったため、パネルシアターの劇にしました。準備期間が少なく大変でしたが、頑張って製作と劇の練習に取り組みました。

迎えた本番は子どもたちの反応もよく、私たちも楽しく演じることができました。今回の貴重な体験を今後の活動に生かしていきたいです。

●チーム保育科
短期大学部 保育科1年 松枝滯香さん 岐阜県立東濃実業高等学校出身

「共生社会の探究」現地実習 活動報告

本年度も8月3日(月)～6日(木)の4日間、21名の本学の学生と2名の高蔵高等学校の生徒が被災地を訪問しました。

4回目となる今回は、津波の影響で不通となり2015年3月に運転再開されたJR石巻線を使い、仙台市から女川町に向かいました。新しい駅舎に復興を感じつつも、女川町内をバスで巡るなかで、復興が進んでいるところと取り残されているところの格差を目の当たりにしました。



ピニールハウスでの農業ボランティア

女川町での清掃ボランティアを終えて

大学祭会期中に行われた現地実習の報告会

猛暑の中、一心不乱にピニールハウスでの農作業や草むしりに取り組み、被災者の方々と膝を交えて話し合った経験は、学生の心に深く刻まれたことでしょう。(経済学部准教授 水野有香)



東北学院大学の学生とのワークショップ

「こころ」が近づいた

私は東日本大震災の一年半後に来日し、ずっと被災地でのボランティア支援活動に参加したいと思っていました。

活動中、いつも「悲しい」と「嬉しい」という矛盾した気持ちがありました。同じ人間として、言葉にできない人の苦しさや悲しさを感じ、同じ気持ちになりました。一方、現地で精神的な援助ができて嬉しいとも感じました。

被災者の皆さんと直接話し、努力している姿に感動し、力をもらいました。言葉の壁は若干ありましたが、「こころ」が近づいたと感じました。

経済学部2年 グエン・ニュー・クイン・アインさん(ベトナム人留学生) I.C.NAGOYA出身



仙台市と女川町でボランティア活動

私は被災地ボランティアに参加したことで、震災に対する関心が高まりました。今もなお、がれきが残る地域は思った以上に酷い現状で、メディアで報道されているのは復興の進んだ地域だけだと実感しました。

短い時間でしたが仙台市や女川町でボランティア活動を行い、少し復興活動に貢献できたと思います。地元の方の「ありがとう」という言葉が心に残りました。また、商店街で買い物もしました。こうしたことも「被災地経済への貢献」となり、地域の活性化」という面でも重要だと思いました。 経済学部1年 左合優太さん 岐阜市立岐阜商業高等学校出身



女川町の交流会で「エイサー」を披露

仮設住宅に住む高齢者の方との交流

●「共生社会の探究」現地実習スケジュール

日	時	項目
8月3日(月)	8:00	名古屋経済大学 犬山キャンパス 出発
	16:30	東北学院大学 土樋キャンパス(仙台市青葉区) 到着 (東北学院大学泊)
4日(火)	8:00	東北学院大学 土樋キャンパス 出発
	8:30	農作業のボランティア(仙台市若林地区周辺)
	16:00	東北学院大学の学生とのワークショップ (東北学院大学泊)
	5日(水)	5:45 東北学院大学 土樋キャンパス 出発
5日(水)	6:09	五橋(市営南北線・泉中央行き)ー仙台 6:11 着 (電車)
	6:26	仙台(JR仙石東北ライン 快速)ー石巻 7:30 着
	8:03	石巻(JR石巻線)ー女川 8:28 着
	8:45	女川町市街地・周辺部7浜を巡る、ボランティア作業 (バス)
	13:00	仮設住宅に住む高齢者の方との交流(新田仮設住宅)
	16:00	大川小学校 視察
	20:00	仙台市 出発 (車中泊)
6日(木)	7:00	名古屋経済大学 犬山キャンパス 到着

犬山市議会議員と留学生の交流

5月22日(金)、犬山市議会議員の方々が大学を訪問され、留学生支援室にてベトナム・ネパールの本学の留学生、日本人学生13名と交流会を行いました。議員の方々から、犬山在住の学生たちに対して下宿やアルバイト



生活の状況を、ネパールの留学生たちに対して大地震による母国の家族の安否や現在の復興状況などの質問が寄せられました。留学生たちが一生懸命に日本語で答えたり、話し合いに加わったりする姿が印象的でした。



市議会議員の質問に熱心に答える留学生たち

ネパール大地震 緊急募金(義捐金)贈呈式

ネパール大地震の発生直後から本学の学生と教職員が、犬山市役所の方や市邨高等学校・中学校と協力してネパール地震の被害者に対する義捐金協力を呼びかけ、367,676円を集めることができました。5月29日(金)に行われた義捐金贈呈式には、本学のネパール人留学生5名、市邨学園末岡照章学園長、末岡仁副学園長をはじめ佐々木雄太学長、市邨高等学校 瀧谷有人校長、募金に協力したその他の国の留学生らが出席。その後、経営学部1年のバンダリ・ピカスさんがネパール人留学生を代表して義捐金を受け取り、経済学部1年のラマチャンドラ・パハドゥルさんがお礼とネパールの現状を説明しました。集めた義捐金は、ネパール大使館に贈られ、ネパールの復興に役立てられます。贈呈式のもようは、名古屋テレビ放送、中日新聞で紹介されました。



義捐金贈呈式に出席した留学生と学園関係者

日本文化体験『浴衣着付け&日本舞踊体験』

7月31日(金)、日本舞踊西川流、名古屋の呉服店「美濃幸」、大学院生、地域の方々にご協力をいただき、日本文化を体験する「浴衣着付け&日本舞踊体験」を行い、本学留学生・日本人学生・教職員31名が参加しました。

今年は浴衣の着付け体験に合わせて西川流の日本舞踊体験の時間を設けるなど、昨年以上に充実した内容で開催しました。どちらも初体験の学生が多く、とても貴重な時間となりました。参加学生からも「初めての体験で



見よう見まねで「日本舞踊」

とても良かった」「楽しかった」などの感想が寄せられました。今後も、さまざまな国際交流を行っていく予定です。



浴衣に着替えて記念撮影

地域連携・産学連携

田県神社前駅西駅前広場ワークショップ

6月20日(土)と9月5日(土)の両日、小牧市主催の田県神社前駅駅前整備事業に伴う市民ワークショップに学生8名と参加しました。「田県神社前の駅として、落ち着いた雰囲気と若者が集まる明るい空間がひとつになった駅前広場」というコンセプトに基づいて、和やかに意見交換がなされました。

学生からは「大学PRのための横断幕を掲げられるようになればいい」「地域の方と協働でイベントに取り組めるスペースがほしい」などの意見が出されました。市民の方々や学生たちの「理想」がどのように「かたち」になるか、ご期待ください！(地域連携センター長 経済学部教授 横平龍宏)



住民と意見交換をする奥川さん

白熱するグループでの意見交換



グループを代表し発表をする学生

笑顔で交流する松枝さん

公務員の仕事の一場面を体験

公務員を目指している私は、市役所の方が携わっていると聞き、ワークショップへの参加を決めました。最初は心配でしたが、参加者全員でたくさんの意見やアイデアを出しあう「ブレインストーミング」で自分の意見を述べ、グループ発表を任せられたことで度胸もつきました。公務員の仕事の一端を見ることもでき、貴重な体験となりました。

法学部1年 奥川涼介さん 愛知県立一宮商業高等学校出身

初めての体験に発見がいっぱい

年代が違う方々とのワークショップで、最初はとても緊張しました。岐阜県に住んでいるので田県神社周辺地域の特長を理解していないことに不安はありましたが、事前にワークショップの練習により流れをつかむことができ、安心して参加することができました。地域の方との意見交換がスムーズになり、グループ発表も上達し、自分の成長を実感することができました。

短期大学部 保育科1年 松枝澤香さん 岐阜県立大濃東美高等学校出身

犬山市と相互交流

犬山市健康福祉部子ども未来課と保育科との相互交流は、今年度で2年目を迎えます。交流の一環として、学生は、子ども未来園や児童センターへ自由にボランティアに行くことができます。ボランティアを通して、学生は各自の保育技術や社会人としての力を伸ばしています。また、授業でも、市の保育士と交流する機会があり、学生は保育士の方々からアドバイスを受けながら、保育職への期待を膨らませています。

さらに、今年度は保育科 堀美鈴特任教授と市との共同研究が新たな取り組みとして始まりました。10月10日(土)・11日(日)に開催された大学祭では、「新任保育者が意欲的に保育を行うことができるために」と題して、研究発表を行いました。今後も、犬山市の保育や本学保育者養成の質の向上を目指して、交流を図っていく予定です。

(短期大学部 保育科准教授 関谷みのぶ)



現役保育者を招いての交流会



「研究成果」途中経過報告

男の料理を楽しむ会

10月3日(土)、楽田コミュニティとおし部会の方々をお迎えして「男の料理を楽しむ会」を開催しました。はじめに、「日本と韓国 ~お互いの違いから学べること~」と題して日本と韓国の食事・文化の違いや、韓国の家庭料理についての紹介をした後、調理がスタート。ピビンパブをメインに色とりどりのメニューがテーブルを彩り、和やかな雰囲気の中での試食会も大いに盛り上がりしました。(人間生活科学部 管理栄養学科教授 李温九)



韓国の食文化についての講義風景

「調理を楽しむ」その気持ちは伝わる



世代の違う方々に「調理の楽しさ」をどう伝えればいいのか心配していましたが、それは取り越し苦労に過ぎませんでした。調理の手順や味のバランス、盛りつけの美しさなどについても話し合いができ、楽しい時間を持つことができました。韓国の食文化を学ぶことで、「もっといろいろな食について知りたい」「学びたい」と思える貴重な体験ができました。

人間生活科学部 管理栄養学科3年 加藤遥さん 三重県立四日市四郷高等学校出身

小牧市大学連携講座「子どもと一緒に調理」

昨年に引き続き、栄養・料理講座を全5回シリーズで実施しました。毎回テーマを変え、子どもと保護者が一緒に調理をし、栄養について学ぶ講座です。保護者の方々には栄養に関するミニ講義を、子どもたちには調理実習で使用する食材を媒体にオリジナルのクイズやゲームを実施し、大盛況でした。受講希望者が定員を上回り、抽選をするほど多くの方に関心を持っていただけたことをとても嬉しく思います。今後も、地域の方と学生が互いに学び合える講座を企画・実施していきたいと思ひます。(人間生活科学部 管理栄養学科准教授 上延麻耶)



「食材の栄養」について解説をする小澤さん

アドバイスを「小口切り」に挑戦!



学生が作成した「野菜クイズ」に夢中



「ヘルシーディナー」でき上がり

本学で開催された第5回 大学連携講座「ハキキル子どもたちとやさしく見守るお母さんたち」

大勢を前にしての発表にも自信がついた

子どもたちを対象に「野菜クイズ」を考え、実施しました。喜んでくれた子どもがほとんどでしたが、年齢の幅が広く、クイズのレベル設定の難しさに加え、駄々をこねたり泣き出したりする子もいて対応の難しさを痛感しました。今回の講座に参加したことで、大勢を前にしてわかりやすく発表するスキルを身につけることができ、自信を持つことができました。

人間生活科学部 管理栄養学科3年 小澤佳子さん 名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身

回を重ねるごとに、どうすれば良いかが見えてきた

何度も試作し、改善点を見つけ、レシピの調整をしていくことは大変でした。参加してくれる子どもたちの年齢が毎回異なるため、その度に素材を工夫する作業が続きました。また、「オリジナルクイズ」では、学んだことを母親に伝える子どもたちの姿を見て、とても嬉しく思いました。回を重ねるごとにコツもつかみ、成長した自分に出会うことができました。

人間生活科学部 管理栄養学科3年 高野佑美さん 名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身

小牧市の内店で学生がお弁当のPRと店頭販売を体験。この日用意された70食は午前中に完売!!

「ちゃんとごはん」マックスバリュ中部とお弁当企画

栄養や調理の知識を実践の場で活かしてほしいと、マックスバリュ中部株式会社と旬の食材、栄養バランスを考えた「ちゃんとごはん弁当」を共同開発しました。栄養・経済面はもちろん、器選びや販促物のデザインも学生が行いました。「どのようにすれば売れるか?」という課題にも、学生は四苦八苦しながら意欲的に取り組んでいました。「このお弁当を食べて心も体も満たされ、幸せな気持ちになって欲しい」という学生の思いが一人でも多くの方に届けば嬉しいです。(上延)



笑顔もこぼれ、和やかな雰囲気ではじまった「試食会」

「秋を感じる彩幸(さいこう)弁当」

「食」を楽しんでもらえたら...



私たちの好きなものを詰め込んだ「カフェ弁当」をスタートに、試作を繰り返して迎えたプレゼン当日、担当の方に「彩りも味も本当にいい!今までの企画で1番かも」と褒めていただきました。

大変なこともありましたが、今回の経験を生かして主観的にも客観的にも物事を考えることができるよう、今後も成長したいと思ひます。

人間生活科学部 管理栄養学科3年 三澤祥子さん 愛知県立春日井西高等学校出身



お客様に喜ばれるお弁当づくり



今回のお弁当企画で大変だったのは、そのお弁当をどうしたらお客様に購入していただけるものにするかということでした。彩りや料理の配置、お弁当箱、弁当名にいたるまで、すべて自分たちで考えました。大変でしたが、完成した時の達成感は素晴らしいものでした。今後も、この企画で学んだことを活かし、さまざまな事に挑戦していきたいです。

人間生活科学部 管理栄養学科2年 中神有菜さん 愛知県立幸田高等学校出身

自分たちの想いを形にできた!



自分たちの想いがいっぱい詰まったお弁当が誰かの食卓を彩る。それってワクワクすることですよね。

メニューはもちろん栄養価計算から彩りまで、短時間で決めることが多く、苦勞もありましたが、自分たちで考えた「お弁当」が店頭に並び、手にとってもらった瞬間、大きな喜びと達成感で胸がいっぱいになりました。

人間生活科学部 管理栄養学科2年 古山弥生さん 名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身

地域連携・産学連携

尾張三大奇祭「石上げ祭」

8月2日(日)、犬山で130年以上行われている尾張三大奇祭「石上げ祭」に本学留学生・日本人学生・教職員52名が参加しました。当日は、祭に参加していた本学卒業生の方々に声をかけていただきながら、全員が一丸となって元気いっぱい石を運びました。参加した学生たちは「疲れたけど、とても楽しかった」「面白かった」と感想を述べていました。今回は石上げ祭保存会の方々をはじめ多くの方々にご協力をいただきました。また、さまざまな学部の学生たちが協力し合う絶好の機会となり、学生たちにとっても貴重な経験となりました。



無事に奉納を終え「記念撮影」



大学のほりを先頭に元気に出発!

山の中腹で“休憩”保存会メンバーや犬山市長と記念撮影

「ええがね!こまき」で防災クイズとデジタルマップをPR

9月5日(土)、経済学部学生研究室の地域政策チームは小牧市の市民団体・企業などが日頃の活動を披露するイベントに参加しました。本年度、経済学部は日本地理学会よりGIS学術士実績証明団体の指定を受けましたが、当日は災害時の助け合いマップをはじめとするデジタルマップの紹介、防災クイズの実施、クイズの解答と解説を記したパンフレットの配布を行いました。(経済学部教授 岸野澄子)



来場者でにぎわう「名古屋経済大学」のブース



学生自ら考案した「防災クイズ」

誰かのために 活動を目指して



防災のアンケートに基づくマップをはじめ、自分たちで作成したデジタルマップを紹介しようと「ええがね!こまき」に参加しました。マップや資料の作成は大変でしたが、直接評価をいただき感動しました。

朝市アンケートに歴史マップ、助け合いマップでの活動が小学校の教材や地域活動のお役に立っていることが、次の活動への励みになっています。

●経済学部学生研究室 地域政策チーム
経済学部3年 鷲田智貴さん 暁高等学校(三重県)出身

企業や団体、 来場者との交流

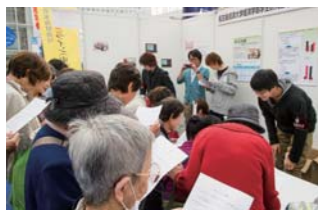


地域政策チームの1年生メンバーは防災クイズを担当し、第4回こまき市民活動祭「ええがね!こまき」に参加しました。さまざまな企業や団体が集うこのイベントでは、それぞれの思いや活動内容を直接見聞きできるため、企業や団体のイメージをつかむことができました。また、来場者とふれあいが自分たちの活動をPRすることができました。

●経済学部学生研究室 地域政策チーム
経済学部1年 平島徹也さん 福井県立金津高等学校出身

名古屋市消費生活フェア2015

11月7日(土)、経済学部学生研究室・地域政策チームは栄のオアシス21で開催された名古屋市消費生活フェアに参加しました。防災クイズの実施と解答編冊子の配布はすでに犬山・小牧のイベントなどでも行っていますが、今回は過去の回答の集計・分析結果のパネル展示・説明を行うとともに、地域特性に応じて問題を入れ替えた防災クイズも実施しました。順番待ちをしてクイズに挑戦する方も出るほど、盛況でした。(岸野)



来場者でにぎわう地域政策チームのブース



熱心に質問される住民の方々

ご近所の力を助け合いマップに

経済学部の授業「地域調査」では大学近くの西染田団地で、災害時に援護が必要な方と支援が可能な方について調査を行い、その結果をデジタルの「災害時助け合いマップ」として表現し、団地の皆さんに報告会を行いました。報告会では可視化することによって得た気付きに基づき、いくつかの提案も行いました。報告会は好評で、その様子は中日新聞(7月25日付・近郊版)で紹介されました。(岸野)

就職支援

就職内定者報告

早め早めに積極的な行動を

私が就職活動期間中に最も気をつけたことは、早めに、積極的に行動を起こしていくことです。最初は小さな合同企業説明会でも緊張していましたが、就職活動が始まる前から学内外で開かれる数多くの就活セミナーや会社説明会に参加するうちに、「自分はしっかりと就活をしている」という自覚と自信を手に入れることができました。それにより本格的に面接が始まる頃には、どのような場面でも平常心で臨むことができるようになっていました。少しずつでも早めに就職活動の準備を始めておくことが、一番大切だと思います。



●愛知信用金庫
経済学部4年 大橋祐介さん
高田高等学校(三重県)出身

さまざまな業界業種にふれ、方向を絞り込む

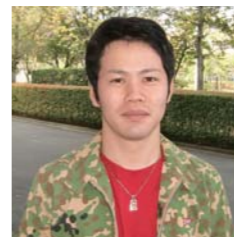
今年は就職活動時期の開始が遅く、大きな不安を感じていました。3月から合同企業説明会に足を運び、業界業種にこだわらず、さまざまな会社のブースをまわりました。その中で金融業界に興味を持ち、それ以降は金融業界の会社説明会に足を運ぶようにしました。キャリアセンターの方々に助けていただきながら履歴書を作成し、内定を得ることができました。就職活動中には、早い段階から準備することの大切さを感じました。情報解禁前から就職活動支援講義を受講し、履歴書の作成やSPI対策を行っていたことがこの結果につながったと思います。



●東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社
経営学部4年 福井綾華さん
岐阜県立岐阜北高等学校出身

公務員試験の合格へ向けた努力が実る

私は小学生のころから警察官に憧れており、警察官になって人のために役に立つ仕事をしたいという思いがありました。警察官になるためには公務員試験に合格するのが必須条件です。私は今までお世話になった方々に恩返しをしたいという一心で、ひたすら一年間机に向かいました。その結果、無事内定が決まりました。来春から警察学校に入校し、警察官として第一歩を踏み出します。地域の皆さまに安心した生活を送っていただけるように、誰からも信頼される誠実な警察官を目指し、最善の努力をしていきます。



●岐阜県警察本部
法学部4年 西田裕司さん
高山西高等学校(岐阜県)出身

公務員試験講座や公務員サポート教室を活用

公務員試験の筆記試験は範囲がとても広いので、的をしぼって勉強をしました。勉強していてわからなかったところは、公務員試験講座や公務員サポート教室を利用し、わかるまでとことん勉強しました。

手当たり次第に勉強するのではなく、同じテキストや同じ問題を何度も解いて定着させることがとても大切だと思います。

小論文や面接対策では先生やキャリアセンターの先生方に助けてもらい、そのおかげで地方公務員としての保育職に合格することができました。



●須賀市役所(保育職)
人間生活科学部 教育保育学科4年 植田裕子さん
愛知県立津島東高等学校出身

さまざまな会社を知り、視野を広げる

就職活動をする上で気をつけたのは、事前の準備をしっかりすることです。履歴書の添削や面接の練習では、キャリアセンターの方々に大変お世話になりました。その結果、面接の際にもあまり緊張せず自分の想いを伝えることができ、内定をいただくことができました。

また、業界や業種は絞らず、さまざまな会社を知って視野を広げることも大切だと感じました。国家試験や卒論と重なり、時間管理が大変でしたが、周りの人たちに支えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。



●株式会社スギ薬局
人間生活科学部 管理栄養学科4年 河野久美さん
愛知県立高蔵寺高等学校出身

実習を通して多くを学び保育者へ

幼い頃から「幼稚園の先生になりたい」と思っていました。大学生活がはじまり、実習などで実際に子どもたちと接することで多くのことを学びました。そして「幼稚園の先生になりたい」という気持ちがさらに強くなっていきました。今は夢を叶えることができ、とても嬉しい気持ちでいっぱいです。

これからも大変なこと、不安なことがたくさんあると思いますが、笑顔で楽しく頑張っていきたいです。



●学校法人光和学園 瀬戸幼稚園
短期大学部保育科2年 酒井みさとさん
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身

インターンシップ・実習レポート

インターンシップレポート

就活につながるインターンシップ

●株式会社名大社



私がインターンシップを通して学んだことは、社会人として当たり前のマナーや、社会人としての責任の重みでした。実習に行かなければわからなかった就活生としての現実を、身にしてみても感じました。

経済学部3年 荒川裕哉さん(写真左)
愛知県立緑丘商業高等学校出身

実習先では就職活動の現状を座学で学び、営業に同行して商談の流れなどを見学。グループ発表ではテーマにそって討論を行うなど、初めて学ぶことの多い実習でしたこの経験をしっかりと自分の就職活動につなげていきたいです。

経済学部3年 山田裕貴さん(写真右) 愛知県立稲沢高等学校出身

インターンシップを通して学んだこと

インターンシップで学んだことは、大きく分けて2つあります。1つは、会社は仕事を通じて自ら成長する場であり、重要なのは、それをいかに意識して目標を達成し、次のステップにどうつなげていくかということ。2つ目は、営業は必ず成果が出るものではないからこそ、実際に注文をもらった時に感じる達成感が大きいということです。これからは、働く上で自分がどう成長したいかを明確にしていきたいと思っています。

●株式会社三恵社

経済学部3年 伊藤慎祐さん
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



充実したインターンシップ

初めてのインターンシップだったので行く前は緊張しましたが、社員の皆さんにわからないことを丁寧に教えてもらいながら、毎日新しいことを覚え、日に日に楽しんで実習ができるようになりました。

また、年齢が近いせいもあり社員の皆さんと気軽に話げできたことでお客様に笑顔で接することができ、インターンシップ後は充実した気分が味わえました。将来は就職のためにこの経験をぜひ役立てたいと思います。

●株式会社yu ko-ne(ユコーネ)

経済学部2年 ダオ・ティ・キェウ・ミイさん
(ベトナム人留学生)
外語学院アドバンスアカデミー出身



子どもたちとふれあえる、貴重な経験

私は今年の5月から市邨幼稚園で、授業のない日や空いている時間を利用して週に2日、インターンシップに参加しています。

インターンシップでは先生方の手伝いや預かり保育をしており、担当クラスは日によって異なるため、3歳から5歳までどのクラスも見守ることが出来ます。異なるクラスを担当することで、さまざまな保育の仕方を体感でき、とても勉強になっています。子どもたちとふれあう機会はとても貴重な経験ですので、皆さんもぜひインターンシップに参加してみることをお勧めします。

●名古屋経済大学附属市邨幼稚園

人間生活科学部 教育保育学科4年 宮田浩平さん
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身



実習レポート

知ることの楽しさを伝えたい

小学校実習は、幼稚園や保育園の実習の時よりも緊張し、最初は不安でいっぱいでした。しかし、子どもたちと接していくうちに、「小学生の子どもたちに、いろいろなことを楽しみながら知って欲しい」という気持ちが自然に芽生えてきました。また、授業で子どもたちの前に立つ時は、「わかりやすく話すこと」をモットーにし、頑張りました。

実習の最終日には、子どもたちから素敵なサプライズプレゼントをもらったことも良い思い出になり、とても楽しく小学校実習を終えることができました。

【豊川市立三蔵子小学校】

人間生活科学部 教育保育学科4年 柳下藍さん
豊橋中央高等学校(愛知県)出身



小学校教諭 教育実習

直接ふれてみることで理解度も深まる

6月に2週間の幼稚園教育実習をさせていただきました。学外での実習は初めてで不安でしたが、先生方が日誌や指導案の書き方など、一からすべて優しく教えてくださいました。印象的だったのは、実際に幼稚園へ行かなければわからないことがたくさんあったことです。講義で「こうやって接しましょう」と子どもへの接し方を教わっていても、実際は子ども一人ひとりの個性が違うため、現場では臨機応変な対応が求められます。これからも実習は続きますが、きちんと準備をして初心を忘れず、夢に向かって頑張りたいと思います。

【愛知学泉大学附属桜井幼稚園】

人間生活科学部 教育保育学科2年 荒川史江さん
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



幼稚園教諭 教育実習

良い経験になった、障害者福祉施設での実習

最初は、障害者福祉施設がどのような場所なのか想像が付きませんでした。また、利用者の皆さんとどう関わればいいのかもわかりませんでした。しかし、実習で施設の職員の方々が利用者さんに対してスキンシップを図る工夫をされているのを見て、自分もその通りに関わってみると利用者さんの笑顔が見られ、緊張がほぐれました。保育士や職員の方々の対応を見ながらいろいろなことを教えてもらい、とても良い経験になりました。

この経験を生かしてこれからも頑張っていきたいです。

【社会福祉法人双樹会 自由の杜】

人間生活科学部 教育保育学科3年 服部裕輔さん
愛知県立阿久比高等学校出身



保育士 施設実習

多くの体験から次の課題が見つかる

2週間の保育実習で、3歳児クラスを担当させていただきました。幼稚園と違い、遊びを中心とした保育を展開しているため、クラス以外にも年齢の違うさまざまな子どもたちと遊ぶ機会を持つことができ、多くの学びが体験できました。部分(責任)実習ではエプロンシアターの保育実践で、3歳児たちは楽しんで見てくれた反面、集中力が切れてしまう場面もあり、もう少しお話をわかりやすくした方がいいと気づいたので、次に繋げたいと思っています。今回の実習を終え、「保育士になりたい」とさらに思いが強くなりました。

【西尾市立東幡豆保育園】

人間生活科学部 教育保育学科3年 市川裕奈さん
安城学園高等学校(愛知県)出身



保育所実習

管理栄養士の多様な仕事とその奥深さを知る

今回私は、外来・入院患者様の栄養指導や回診、アレルギー負荷試験、NICU・母親教室・褥瘡(じよくそう)・リハビリ見学などを体験しました。患者様一人ひとりと直接向き合って得た情報により調理がオーダーされたり、治療方針の決定にも関わっていたりすることなど、管理栄養士が担う役割の大きさを知ることができた今回の実習は、毎日が新たな気づきと勉強の連続でした。患者様に対して真摯に向き合う姿勢と幅広い知識を習得する必要性を実感したので、今後はよりいっそう勉学に励みたいと思っています。

【社会福祉法人聖霊会 聖霊病院】

人間生活科学部 管理栄養学科3年 安田記子さん
愛知県立江南高等学校出身



病院 臨地実習

子どもたちの成長を近くで見守る幸せ

緊張と不安で最初は行きたくないと感じた幼稚園実習でしたが、実習が始まり、実際に子どもたちと関わっていくうちに楽しいと思えるようになりました。それは、子どもたちの毎日の成長を自分の目で見ることでできたからです。また、責任実習の際、自分が考え、準備した造形あそびに、子どもたちが楽しそうに取り組んでいるのを見て、とてもやり甲斐を感じました。日誌やピアノ、責任実習など大変な2週間でしたが、これを機に成長することができ、また将来の夢を再確認できた実習になりました。

【葵第一幼稚園】

短期大学部 保育科2年 鈴木杏菜さん
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



幼稚園教諭 教育実習

斬新なアイデアにふれ充実した実習

学校給食の成り立ちや献立作成に興味があり、栄養教諭・管理栄養士を目指して頑張っています。6月の教育実習では、給食を食べながら「食べ物の好き・嫌い」など、子どもたちの声を直に聞くことができ、献立作成にとっても役立ちました。また、担任・教務主任・栄養教諭の先生方にもきめ細やかなアドバイスと自分では思いつかない斬新なアイデアを教えてくださいいただき、充実した1週間を過ごすことができました。今回の実習経験を生かし、子どもたちに興味を持ってもらえる献立作りをしていきたいと思っています。

【浜松市立伎倍(きへ)小学校】

人間生活科学部 管理栄養学科4年 竹内志帆さん
静岡県立浜名高等学校出身



栄養教諭 教育実習

保育者という仕事のすばらしさ

私はこの2週間の実習をとても楽しく終えることができました。また、先生方や子どもたちからたくさん学ぶこともできました。保育者の行動に対する子どもたちの動きを一つひとつ考え、見通しをもって活動する大切さを知り、子どもたち一人ひとりの行動の裏に意味があることも知りました。子どもの成長には個人差があり、その子に合ったあそびを考えることも最初は難しいと思いましたが、だんだん楽しく思えてきました。今回の実習を通し、保育者の仕事はとても奥が深く、素晴らしいものだと感じることができました。

【小牧市立本庄保育園】

短期大学部 保育科2年 余語彩音さん
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身



保育所実習

強化指定クラブ シーズン結果

男子バスケットボール部

東海学生
1部リーグ2位!
2年連続
インカレ出場!
(全国大学選手権大会)



硬式野球部

愛知学生2部Aリーグ
3勝7敗 5位!

剣道部

女子団体 東海学生決勝トーナメント 2回戦敗退
男子団体 東海学生決勝トーナメント 1回戦敗退



男子サッカー部

東海学生2部リーグ優勝! 1部リーグへ昇格!



ラグビー部

東海学生Bリーグ
優勝!
A2リーグへ
昇格!



女子サッカー部

来年度からの
本格活動に向け、活動中!



テニスコートを改修!

テニスコート5面を
リニューアル!



news

来年(2016年)度より
女子バスケットボール部
男女テニス部
が強化指定クラブとして
発足します。

英語教育センター

「学内講演会」が開催されました

6月26日(金)、国際ビジネスコミュニケーション協会の高木真悟氏をお迎えし、「就職に役立つTOEIC® ~企業が求める英語力とは~」と題する講演が行われました。TOEICの説明のあと、世界的なTOEICの需要や日本の順位などがクイズを交えながら楽しく紹介され、地域の皆様を交えた100名を超える受講者はリスニングのサンプルテストに真剣にチャレンジ。企業が求める英語力に近づく一歩を体験することができました。(法学部教授 中元初美)



多くの受講者を迎えて開催された学内講演会

「犬山オープンカレッジ2015」始まる

「忍の食卓」~栄養学の視点から~

忍者は、平時は農民として暮らし、敵国での諜報・工作活動を行っていました。その任務を遂行するためには、長時間活動できる持久力と精神力を備えていなければなりません。本講義では、忍者が食していたとされる献立、任務時に携行したとされる非常食の健康増進効果と宇宙食への応用について、また国際宇宙ステーションで実施中の植物科学実験について解説しました。お越しいただいた皆様、ありがとうございました。



「忍の食卓」講演の様子

(人間生活科学部
管理栄養学科准教授 古市卓也)

10月11日(日) ● 本学7E2教室
「経済学と人間」
~経済学とはどんな学問だったのか?~
経済学部准教授 大塚雄太

11月28日(土) ● 犬山国際観光センター フロイデ
「暮らしと税金」 法学部教授 渡辺基成

12月26日(土) ● 犬山国際観光センター フロイデ
「イギリスへ亡命した逃亡奴隷の記録」 短期大学部 保育科教授 進藤鈴子

第35回 消費者問題研究所「公開講演会」

「消費者被害の解決と予防を目指して」

10月31日(土)、本学名駅サテライトキャンパス10階ホールにて公開講演会を開催しました。今回は「消費者被害の解決と予防を目指して」をテーマに、林大介氏(国民生活センター相談情報部相談第3課長)、岡田恵子氏(消費者庁消費者教育・地方協力課長)、柴田敏行氏(愛知県県民生活部県民生活課長)、木村裕香氏(株式会社NTTドコモCS推進部部長)を講師にお招きし、消費者問題研究所長 田口義明がコーディネーターを務めました。地域における消費生活相談体制の現状と課題、今後のあり方について報告がなされ、活発な議論が交わされました。



国民生活センター 相談情報部相談第3課長 林大介氏
消費者庁 消費者教育・地方協力課長 岡田恵子氏
愛知県 県民生活部 県民生活課長 柴田敏行氏
株式会社NTTドコモ CS推進部部長 木村裕香氏



小牧市民大学「こまきみらい塾」

専門課程「地域の課題に取り組む」を開講

小牧市は、男女共同参画社会の形成に向け、小牧市民大学「こまきみらい塾」を開講しています。今年度も5月から、教養課程18講座、専門課程1講座、学習コース1講座が順次開かれ、多くの市民が熱心に学習しています。私は今回、専門課程で全15回の「地域の課題に取り組む」を担当して

お問い合わせ先:小牧市まなび創造館
TEL 0568-71-9848 FAX 0568-71-9840 E-mail manabi@city.komaki.lg.jp

います。残念ながらこれから専門課程を受講していただくことはできませんが、来年1月からスタートする教養課程の講座もいくつかあります。市民大学は、さまざまな年齢の人と机を並べて勉強できるのが魅力の1つです。ぜひ扉を叩いてみてください。(キャリアセンター長 経営学部教授 代田義勝)